

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年10月31日

上場取引所 東大

上場会社名 三洋化成工業株式会社

コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家永 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 本庄 政昭

TEL 075-541-6153

四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

配当支払開始予定日

平成20年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	71,046		1,988		2,318		1,205	
20年3月期第2四半期	63,110	9.1	2,314	12.2	2,888	12.8	769	54.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	10.92	10.11
20年3月期第2四半期	6.97	6.45

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第2四半期	150,359		85,531		55.3		753.04	
20年3月期	148,717		87,555		57.2		770.38	

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 83,097百万円 20年3月期 85,016百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期		7.50		7.50	15.00
21年3月期		7.50			
21年3月期(予想)				7.50	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,000	8.0	6,000	13.3	7,000	19.9	4,100	183.5	37.15

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 社(社名)) 除外 社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]「4. その他」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 117,673,760株 20年3月期 117,673,760株

期末自己株式数 21年3月期第2四半期 7,324,864株 20年3月期 7,318,348株

期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 110,352,055株 20年3月期第2四半期 110,366,659株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年4月30日発表の通期業績予想を修正していません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(4月～9月)におけるわが国経済は、米国の金融危機による景気後退と、これをきっかけにした世界経済の同時減速により、景気の低迷が長期化する恐れが強まりました。

化学業界におきましても、石化主原料のナフサ価格が急騰し、その後反落傾向に転じたものの、需要低迷が懸念されるなど、経営環境は引続き厳しい状況にあります。

当第2四半期累計期間の連結売上高は710億4千6百万円(前年同期比12.6%増)と引き続き好調に推移しましたが、利益面では、原燃料価格の継続的な高騰を増収ならびに製品価格の改定やコストダウンでカバーしきれず、営業利益は19億8千8百万円(前年同期比14.1%減)、経常利益は23億1千8百万円(前年同期比19.7%減)となりました。

純利益は、前年同期間に発生した繰延税金資産の取崩し(5億4千万円)がなくなったことなどにより12億5百万円(前年同期比56.7%増)となりました。

売上高の主な分野別状況は次のとおりであります。

<界面活性剤>

産業用界面活性剤は、生分解性に優れた洗剤原料が社会のニーズに合い、売り上げを拡大し、またポリエチレングリコールも好調に推移したことなどにより、売上高が増加しました。

繊維用界面活性剤は、炭素繊維や自動車用エアバッグおよびシートベルト用などの産業資材用繊維薬剤が需要増に伴い売上高が増加しましたが、衣料用繊維薬剤は日本の市場縮小の影響を受け、総じて低調な売上高となりました。

以上の結果、当分野全体の売上高は12億6千4百万円(前年同期比11.2%増)となりました。

<ウレタン関連製品>

ポリウレタンフォーム原料は、円高とアジア市況の悪化などで輸出は減少しましたが、国内市場が堅調に推移したことに加え、新規高機能性ポリウレタンフォーム原料が市場浸透により売り上げを伸ばしたことなどにより、売上高が増加しました。

ウレタン樹脂は、自動車内装表皮材用ウレタンビーズが引続き国内・海外ともに売上高を大きく伸ばしたほか、特殊グラビアインキ用ウレタン樹脂も海外で好調に推移したことにより、大幅な売り上げ増となりました。

以上の結果、当分野全体の売上高は18億2千3百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

<親油系高分子薬剤>

情報機器関連製品は、粉砕トナー用バインダーおよび重合トナー用中間体ポリエステルビーズともに、需要の減少や顧客の品種切替えによる在庫調整などがあり、売上高は横ばいとなりました。

潤滑油・機械関連製品は、自動車無段変速機用の潤滑油添加剤の需要が好調に進展したことなどにより売り上げを伸ばしました。

コーティング・接着関連製品は、医療機器用接着剤やガラス繊維用接着剤などの需要が好調に推移したことにより、売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当分野全体の売上高は14億5千2百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

<親水系高分子薬剤>

高吸水性樹脂は、紙おむつなどの衛生材料用の需要が大きく拡大したことに伴い、売り上げを大幅に伸ばしました。

水処理関連製品は、カチオン系高分子凝集剤の拡販や製品価格の改定により、売上高が増加しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は15億9千3百万円(前年同期比16.7%増)となりました。

<特殊化学品>

高分子改質剤関連製品は、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤が好調に推移しました。また、自動車塗料用改質剤も好調に推移し、順調に売り上げを伸ばしました。

電気・電子関連製品は、アルミ電解コンデンサ用電解液は前年並みに推移しましたが、シリコンウエハ製造用薬剤が需要の拡大により、大幅に売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当分野全体の売上高は8億6千4百万円(前年同期比17.5%増)となりました。

(注)当第2四半期累計期間と前年同期では適用される会計基準が異なっておりますが、参考情報として”前年同期比伸び率”を記載しております。(3ページ 4.その他(3)参照)

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期の財政状態は以下のとおりであります。

当第2四半期末の総資産は、業容の拡大や原材料価格の高騰によるたな卸資産の増加、設備投資等により前連結会計年度末に比べて16億4千1百万円増加し1,503億5千9百万円となりました。

純資産は株価下落により前連結会計年度末に比べて20億2千4百万円減少し855億3千1百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.9ポイント低下し55.3%となりました。

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末残高と比較し15億8百万円減少し、99億7千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、39億7千9百万円増加しました。これは、税金等調整前四半期純利益21億3百万円、減価償却費39億1千7百万円等により資金が増加する一方、売上債権の増加14億1千6百万円、法人税等の支払い13億2千5百万円等により資金が減少したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、有形固定資産の取得43億4千9百万円などにより、46億8千8百万円減少しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、配当金の支払い8億2千7百万円等により、9億4千1百万円減少しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年4月30日に公表した連結業績予想と当第2四半期累計業績の進捗率は、下表の通りです。

(単位：百万円)

	第2四半期連結累計期間		通 期	
	予 想	進捗率(%)	予 想	進捗率(%)
売上高	68,000	104	146,000	49
営業利益	2,100	95	6,000	33
経常利益	2,700	86	7,000	33
四半期(当期)純利益	1,500	80	4,100	29

経営環境は、米国の金融危機に端を発した世界経済同時減速懸念や原燃料価格・為替の動向等、先行きの不透明感を強めておりますが、第2四半期累計業績の状況も踏まえ、平成20年4月30日に公表した連結業績予想は修正しておりません。

しかしながら、世界的な金融危機と景気後退を背景に、当第2四半期連結会計期間末後、株価は大幅に下落しております。今後、この状況が継続した場合、保有株式について投資有価証券評価損を計上することが必要となります。

なお、平成20年10月28日現在の株価に基づく投資有価証券評価損は、18億円程度となります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,974	11,482
受取手形及び売掛金	40,253	38,932
有価証券	100	100
商品及び製品	11,724	10,353
半製品	4,580	3,808
仕掛品	211	538
原材料及び貯蔵品	4,696	3,742
繰延税金資産	1,226	1,152
その他	1,274	928
貸倒引当金	30	29
流動資産合計	74,011	71,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,436	14,037
機械装置及び運搬具(純額)	23,319	24,121
土地	7,703	7,808
建設仮勘定	4,295	3,621
その他(純額)	1,878	2,000
有形固定資産合計	52,632	51,589
無形固定資産		
ソフトウェア	495	484
のれん	450	548
その他	186	191
無形固定資産合計	1,132	1,224
投資その他の資産		
投資有価証券	19,715	22,632
長期貸付金	10	17
繰延税金資産	1,784	1,035
その他	1,130	1,266
貸倒引当金	57	57
投資その他の資産	22,583	24,894
固定資産合計	76,347	77,709
資産合計	150,359	148,717

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,016	26,986
短期借入金	2,308	1,867
1年内返済予定の長期借入金	1,165	980
未払法人税等	1,192	587
賞与引当金	1,355	1,703
役員賞与引当金	39	60
設備関係支払手形	2,927	2,310
その他	5,685	5,219
流動負債合計	44,689	39,715
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,495	4,275
繰延税金負債	-	108
退職給付引当金	4,905	5,113
役員退職慰労引当金	847	1,123
その他	890	824
固定負債合計	20,138	21,446
負債合計	64,828	61,161
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,197	12,198
利益剰余金	62,120	61,742
自己株式	5,672	5,670
株主資本合計	81,695	81,321
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,754	3,340
為替換算調整勘定	352	353
評価・換算差額等合計	1,401	3,694
少数株主持分	2,434	2,539
純資産合計	85,531	87,555
負債純資産合計	150,359	148,717

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	71,046
売上原価	59,544
売上総利益	11,502
販売費及び一般管理費	9,513
営業利益	1,988
営業外収益	
受取利息	45
受取配当金	187
持分法による投資利益	86
不動産賃貸料	176
為替差益	75
その他	33
営業外収益合計	604
営業外費用	
支払利息	157
たな卸資産廃棄損	55
その他	61
営業外費用合計	274
経常利益	2,318
特別損失	
前期損益修正損	3
固定資産除却損	72
投資有価証券評価損	139
特別損失合計	215
税金等調整前四半期純利益	2,103
法人税等	868
少数株主利益	29
四半期純利益	1,205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,103
減価償却費	3,917
固定資産除却損	72
のれん償却額	97
賞与引当金の増減額(は減少)	347
退職給付引当金の増減額(は減少)	208
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	275
役員賞与引当金の増減額(は減少)	21
受取利息及び受取配当金	232
支払利息	157
持分法による投資損益(は益)	86
投資有価証券評価損益(は益)	139
その他の営業外損益(は益)	223
売上債権の増減額(は増加)	1,416
たな卸資産の増減額(は増加)	2,869
その他の資産の増減額(は増加)	353
仕入債務の増減額(は減少)	3,192
未払消費税等の増減額(は減少)	120
その他の負債の増減額(は減少)	255
小計	3,780
利息及び配当金の受取額	552
利息の支払額	148
その他	120
法人税等の支払額	325
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	4,349
投資有価証券の取得による支出	102
貸付けによる支出	303
貸付金の回収による収入	228
その他	161
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,688

(単位:百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	2,450
短期借入金の返済による支出	1,967
長期借入金の返済による支出	503
自己株式の売却による収入	4
自己株式の取得による支出	8
配当金の支払額	827
少数株主への配当金の支払額	90
財務活動によるキャッシュ・フロー	941
現金及び現金同等物に係る換算差額	4
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,653
現金及び現金同等物の期首残高	11,482
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	145
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,974

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社及び連結子会社は、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種の化学品を専ら製造販売しているので、事業の種類別セグメント情報は記載していません。

b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,928	2,433	4,853	830	71,046	-	71,046
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,484	3	173	-	2,662	2,662	-
計	65,413	2,437	5,027	830	73,708	2,662	71,046
営業利益(又は営業損失)	2,408	242	174	53	1,937	50	1,988

c. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
海外売上高	12,552	(6,870)	5,586	4,191	22,330
連結売上高	-	-	-	-	71,046
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	17.7	(9.7)	7.8	5.9	31.4

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 各区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域: オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中近東 他

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
	金額
売上高	63,110
売上原価	51,444
売上総利益	11,666
販売費及び一般管理費	9,352
営業利益	2,314
営業外収益	800
1. 受取利息	70
2. 受取配当金	173
3. 持分法による投資利益	192
4. その他	363
営業外費用	226
1. 支払利息	107
2. その他	118
経常利益	2,888
特別損失	158
1. 固定資産除却損	148
2. 投資有価証券評価損	10
税金等調整前四半期純利益	2,729
税金費用	1,698
少数株主利益	261
四半期純利益	769

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	2,729
減価償却費	3,968
固定資産除却損	148
のれん償却費	89
貸倒引当金の増減額(減少：)	0
賞与引当金の増減額(減少：)	308
退職給付引当金の増減額(減少：)	299
役員退職慰労引当金の増減額(減少：)	66
役員賞与引当金の増減額(減少：)	36
受取利息及び受取配当金	244
支払利息	107
持分法による投資損益(益：)	192
投資有価証券評価損	10
その他営業外収益	362
その他営業外費用	77
売上債権の増減額(増加：)	1,157
たな卸資産の増減額(増加：)	679
その他資産の増減額(増加：)	360
仕入債務の増減額(減少：)	784
未払消費税の増減額(増加：)	243
未収消費税の増減額(増加：)	82
その他負債の増減額(減少：)	328
小計	6,033
利息及び配当金の受取額	424
利息の支払額	103
その他営業外の収入	276
その他営業外の支出	175
法人税等の支払額	1,094
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,360

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)
区分	金額
投資活動によるキャッシュ・フロー	
固定資産の取得による支出	4,688
固定資産の売却による収入	2
投資有価証券の取得による支出	1,783
貸付金の実行による支出	70
貸付金の回収による収入	88
その他投資活動による支出	296
その他投資活動による収入	268
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金による収入	1,645
短期借入金の返済による支出	1,071
長期借入による収入	200
長期借入金の返済による支出	186
自己株式の取得による支出	13
自己株式の売却による収入	2
配当金の支払額	827
少数株主への配当金の支払額	364
財務活動によるキャッシュ・フロー	615
現金及び現金同等物に係る換算差額	31
現金及び現金同等物の増減額	1,703
現金及び現金同等物の期首残高	15,287
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,583

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当社グループ(当社及び連結子会社)は、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種の化学品を専ら製造販売しているため、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

b. 所在地別セグメント情報

全セグメントの売上高の合計に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

c. 海外売上高

前中間連結会計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
海外売上高(百万円)	10,958	(5,249)	4,526	4,695	20,180
連結売上高(百万円)	-	-	-	-	63,110
連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.4	(8.3)	7.2	7.4	32.0

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、中近東 他

補足情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成19年4月～6月)	第2四半期 (平成19年7月～9月)	第3四半期 (平成19年10月～12月)	第4四半期 (平成20年1月～3月)	累計 平成20年3月期
売上高	31,667	31,443	35,707	36,396	135,214
売上総利益	6,100	5,566	6,267	6,217	24,151
営業利益	1,477	836	1,519	1,460	5,293
経常利益	1,987	900	1,564	1,383	5,836
四半期(当期)純利益	1,031	262	887	210	1,446

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	第2四半期 (平成20年7月～9月)	伸び率(%)	
			前年同期(2Q)比	前四半期(1Q)比
売上高	34,492	36,554	16.3	6.0
売上総利益	5,698	5,804	4.3	1.9
営業利益	975	1,013	21.1	3.9
経常利益	1,127	1,191	32.3	5.7
四半期(当期)純利益	577	627	-	8.7

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成19年4月～6月)	第2四半期 (平成19年7月～9月)	第3四半期 (平成19年10月～12月)	第4四半期 (平成20年1月～3月)	累計 平成20年3月期
売上高	23,202	23,715	26,193	27,266	100,377
売上総利益	4,194	4,029	4,583	4,648	17,455
営業利益	707	477	1,091	1,149	3,425
経常利益	1,570	1,058	1,462	1,210	5,301
四半期(当期)純利益	1,117	252	1,054	14	1,934

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	第2四半期 (平成20年7月～9月)	伸び率(%)	
			前年同期(2Q)比	前四半期(1Q)比
売上高	25,747	27,285	15.1	6.0
売上総利益	4,271	4,681	16.2	9.6
営業利益	774	1,065	123.2	37.6
経常利益	1,396	1,458	37.8	4.4
四半期(当期)純利益	899	995	-	10.6